

証券コード●4559

健康づくりは幸せづくり  
Making Health is making happiness

第53期

# 中間期株主通信

平成18年4月1日～平成18年9月30日



ゼリア新薬

Z E R I A



株主の皆様におかれましては、  
ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。  
第53期中間期の事業概況に関しまして、  
ここにご報告させていただきます。

代表取締役社長

伊部 幸顕

## Z・E・R・I・A Five コーポレート・スピリッツ／企業理念



### CONTENTS

株主の皆様へ .....	P.1
営業の概況（連結） .....	P.2
財務諸表（連結） .....	P.5
財務諸表（単体） .....	P.7
株主様ご優待のお知らせ ....	P.8
会社情報 .....	P.9
株式情報 .....	P.10

# 営業の概況（連結）

## 当中間期の業績

当中間期（平成18年4月1日～平成18年9月30日）の業績は、売上高253億83百万円（前年同期比9.1%減）となりました。利益につきましては、経常利益7億23百万円（前年同期比32.9%減）、中間純利益5億37百万円（前年同期比38.5%減）となりました。

当中間配当金につきましては、1株当たり8円とさせていただきます。

## 事業部門別状況

### ●医療用医薬品部門

医療用医薬品部門は、プロモーションコードの遵守を基本に、MR（医薬情報担当者）の資質の向上と学術情報活動の一層の充実を図ってまいりました。最重点領域である消化器用薬におきま

しては市場環境の変化と市場競争の激化するなか、亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック」は、これまでの顆粒剤に加え、服薬コンプライアンスの向上を目的とした口腔内崩壊錠「プロマックD錠75」を本年7月に発売することにより製品特性の市場認知がさらに進み売上は増加いたしました。しかし、H<sub>2</sub>受容体拮抗剤「アシノンカプセル75・150」は僅かに減少し、胃炎・潰瘍治療剤「マーズレン・S顆粒・ES錠」は苦戦が続きました。

その結果、当部門の売上高は、165億48百万円（前年同期比0.9%増）となりました。

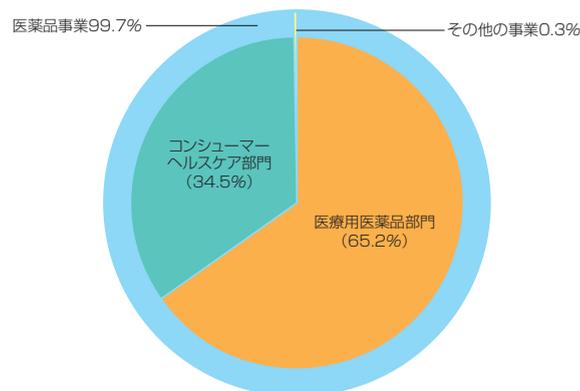
### ●コンシューマーヘルスケア部門

コンシューマーヘルスケア部門は、さらなる高齢化社会が進展する中、セルフプリベンション（予防）を指向した製品の供給を通じて市場構築を進めてまいりました。

### ●連結売上高（単位:百万円）



### ●事業別売上高構成



# 営業の概況（連結）

なかでも当社主力製品群であり、近年市場を大きく拡大しております「コンドロイチン群」は引き続き順調に伸長し、トップブランドとしての地位を堅持いたしました。また、植物性便秘薬「ウィズワン群」、滋養強壮剤「ヘパリーゼ群」も市場を拡大いたしました。一方、スキンケア関連製品のブランド強化を図るべく、にきび治療薬から生まれたコスメブランドとして「アプスティー群」に多数の新製品を投入しラインナップを強化いたしました。

しかしながら、一部健康食品の取引見直しの影響により、部門全体としては減収を余儀なくされました。



## ●主要医療用医薬品等

種別	製品名
消化器官用薬	アシノンカプセル(75、150)
	プロマック顆粒15%・D錠75
	マーズレン-S顆粒・ES錠
中枢神経系用薬	ベオン錠80
循環器官用薬	ランデル錠(10、20、40)
血液及び体液用薬	アンサー20注
医療機器	アピテン、シリンジアピテン

その結果、当部門の売上高は87億58百万円（前年同期比23.3%減）となりました。

## 研究開発の状況

研究開発部門におきましては、国際的に通用する新薬の創製を念頭に、自社オリジナル品の海外での臨床試験を積極的に推進するとともに、海外で実績がある薬剤を導入し、国内での開発を進めております。

注力領域である消化器分野の製品パイプライン



## ●主要一般用医薬品等

種別	製品名
代謝性用薬	コンドロイチンZ S錠
	新ヘパリーゼプラス・新ヘパリーゼドリンク
	ハイゼリーB・ハイゼリーBフレッシュ
	新ローヤルゼレントB
滋養強壮剤	ハイゼリー顆粒・ハイゼリー散
胃腸薬	ウィズワン・ウィズワンα・ウィズワンプラス
中枢神経系用薬	セビーゴールド(カプセル、顆粒)
医薬部外品	ローヤルゼリー散
	ビタヘルサン
外皮用剤	アプスティー(ローション・マイルドローション・モイスチャーローション・洗顔フォーム・クリーム)
	ドルマイシン軟膏
	ドルマイコーチ軟膏
栄養補助食品	新健康習慣シリーズ

強化に取り組む中で、米国インカイン社（現サリックス社）より導入した大腸内視鏡前腸管洗浄剤「Z-205」は、昨年2月に承認申請いたしました。また、スイス・ティロツツ社より導入した炎症性腸疾患治療剤「Z-206」は、フェーズⅢを実施しております。

日米欧3極で開発を進めている自社オリジナル品の「Z-338」は、機能性胃腸症を適応として国内及び欧州でフェーズⅡ、米国では実施許諾契約に基づきアステラス製薬株式会社がフェーズⅡを実施しております。

「プロマック顆粒」につきましては、味覚障害効能追加のフェーズⅢを実施しております。「Z-360」は、英国において、膵臓癌に対するフェーズⅠb／Ⅱa（患者を用いた安全性・有効性の検討）を実施しております。また、「アンサー注」は子宮頸癌に対する追加フェーズⅢを引き続き進めております。

新たに独立行政法人科学技術振興機構の委託開発を受け、アレルギー性鼻炎治療剤「Z-207」の臨床開発に向けて準備を進めております。中央研究所で創製された過敏性腸症候群治療剤「Z-501」は、米国でのフェーズⅠ実施を目指して準備を進めております。

なお、「プロマックD錠75」（口腔内崩壊錠）につきましては、本年2月に承認され、本年7月に発売いたしました。

コンシューマーヘルスケア製品につきましては、新製品、PB品を順次発売いたしました。

## 生産物流の状況

生産物流部門におきましては、品質の確保を第

一として業務を進めてまいりました。なかでも、生産関連部門では、より高い品質の確保を目指すとともに原価の低減をメインテーマとして業務を進めてまいりました。一方、物流関連部門では、物流業務のアウトソーシングを実施する中、さらなる業務の効率化とコストの低減に努めてまいりました。

なお、コンシューマーヘルスケア事業拡充の一環である筑波工場第2期棟は本年11月に竣工し、来春の生産開始に向け準備を進めております。

## 通期の見通し

医療用医薬品部門におきましては、4月に実施された薬価引き下げの影響はあるものの、現在開発中の薬剤を上市することに加え、営業力をより一層強化することにより前期を上回ると予測しております。また、コンシューマーヘルスケア部門におきましては、コンドロイチン群を中心に営業展開を行ってまいります。

利益面におきましては、収益性の高い製品の売上高の増加が見込まれ、また研究開発費は前期並みの水準を見込んでおりますが、その他の経費の効率的な運営を行うことにより、前期に比べ増益を予測しております。

平成19年3月期（平成18年度）の連結業績予測については、売上高530億円（前年同期比4.6%減）、経常利益22億円（前年同期比17.1%増）、当期純利益14億円（前年同期比12.1%増）となる見込みです。

年間配当金に関しては、1株あたり16円とする予定です。

# 財務諸表（連結）

## 中間連結貸借対照表

科 目	期 別	前中間連結会計期間末	当中間連結会計期間末
		平成17年9月30日現在	平成18年9月30日現在
<b>[資産の部]</b>			
<b>流動資産</b>		<b>24,049</b>	<b>25,704</b>
現金及び預金		2,190	1,868
受取手形及び売掛金		15,430	15,525
たな卸資産		3,746	4,517
繰延税金資産		978	842
その他		1,753	2,985
貸倒引当金		△50	△35
<b>固定資産</b>		<b>30,033</b>	<b>32,555</b>
<b>有形固定資産</b>		<b>15,411</b>	<b>18,522</b>
建物及び構築物		4,902	4,654
土地		9,344	9,808
その他		1,164	4,059
<b>無形固定資産</b>		<b>1,206</b>	<b>1,134</b>
<b>投資その他の資産</b>		<b>13,415</b>	<b>12,897</b>
投資有価証券		6,768	7,059
長期前払費用		4,480	3,856
繰延税金資産		592	300
その他		1,719	1,793
貸倒引当金		△147	△112
<b>資産合計</b>		<b>54,082</b>	<b>58,259</b>

(単位：百万円、端数切捨て)

科 目	期 別	前中間連結会計期間末	当中間連結会計期間末
		平成17年9月30日現在	平成18年9月30日現在
<b>[負債の部]</b>			
<b>流動負債</b>		<b>20,739</b>	<b>21,408</b>
支払手形及び買掛金		6,562	6,312
短期借入金		9,428	10,911
その他		4,748	4,184
<b>固定負債</b>		<b>4,388</b>	<b>8,187</b>
社債		—	1,000
長期借入金		2,583	5,737
退職給付引当金		1,558	1,148
その他		245	301
<b>負債合計</b>		<b>25,127</b>	<b>29,595</b>
<b>[少数株主持分]</b>			
少数株主持分		—	—
<b>[資本の部]</b>			
資本金		6,593	—
資本剰余金		5,414	—
利益剰余金		21,251	—
其他有価証券評価差額金		1,401	—
自己株式		△5,706	—
<b>資本合計</b>		<b>28,955</b>	<b>—</b>
負債、少数株主持分及び資本合計		54,082	—
<b>[純資産の部]</b>			
株主資本		—	27,143
資本金		—	6,593
資本剰余金		—	5,414
利益剰余金		—	21,481
自己株式		—	△6,346
評価・換算差額等		—	1,520
其他有価証券評価差額金		—	1,509
繰延ヘッジ損益		—	11
<b>純資産合計</b>		<b>—</b>	<b>28,663</b>
<b>負債純資産合計</b>		<b>—</b>	<b>58,259</b>

## 中間連結損益計算書

(単位：百万円、端数切捨て)

科 目	期 別	前中間連結会計期間 平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで	当中間連結会計期間 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで
	売上高		27,934
売上原価		13,105	12,033
売上総利益		14,829	13,349
販売費及び一般管理費		13,759	12,639
営業利益		1,070	710
営業外収益		143	148
営業外費用		136	135
経常利益		1,077	723
特別利益		489	370
特別損失		113	48
税金等調整前中間純利益		1,453	1,045
法人税、住民税及び事業税		512	298
法人税等調整額		66	208
中間純利益		874	537

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円、端数切捨て)

科 目	期 別	前中間連結会計期間 平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで	当中間連結会計期間 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで
	営業活動によるキャッシュ・フロー		858
投資活動によるキャッシュ・フロー		△552	△2,580
財務活動によるキャッシュ・フロー		△1,032	3,285
現金及び現金同等物に係る換算差額		△5	0
現金及び現金同等物の減少額		△731	△279
現金及び現金同等物の期首残高		2,790	2,015
現金及び現金同等物の中間期末残高		2,059	1,736

## 連結子会社 2社

ゼリアヘルスウェイ株式会社  
株式会社ゼービス

## 中間連結株主資本等変動計算書

(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

(単位：百万円、端数切捨て)

項 目	株主資本					評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
平成18年3月31日残高	6,593	5,414	21,283	△6,164	27,126	2,226	—	2,226	29,353
中間連結会計期間中の変動額									
剰余金の配当(注)			△339		△339				△339
中間純利益			537		537				537
自己株式の取得				△181	△181				△181
株主資本以外の項目の中間連結会計 期間中の変動額(純額)						△717	11	△706	△706
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	198	△181	16	△717	11	△706	△689
平成18年9月30日残高	6,593	5,414	21,481	△6,346	27,143	1,509	11	1,520	28,663

(注)平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

# 財務諸表 (単体)

## 中間貸借対照表

(単位：百万円、端数切捨て)

科目	期別	前中間会計期間末 平成17年9月30日現在	当中間会計期間末 平成18年9月30日現在
<b>[資産の部]</b>			
流動資産		23,459	25,318
固定資産		28,509	31,051
有形固定資産		13,628	16,761
無形固定資産		1,205	1,134
投資その他の資産		13,675	13,155
資産合計		51,968	56,369
<b>[負債の部]</b>			
流動負債		20,116	20,816
固定負債		3,217	7,161
負債合計		23,333	27,977
<b>[資本の部]</b>			
資本金		6,593	—
資本剰余金		5,414	—
利益剰余金		20,932	—
其他有価証券評価差額金		1,400	—
自己株式		△5,706	—
資本合計		28,635	—
負債資本合計		51,968	—
<b>[純資産の部]</b>			
株主資本		—	26,872
資本金		—	6,593
資本剰余金		—	5,414
利益剰余金		—	21,210
自己株式		—	△6,346
評価・換算差額等		—	1,519
其他有価証券評価差額金		—	1,508
繰延ヘッジ損益		—	11
純資産合計		—	28,391
負債純資産合計		—	56,369

## 中間損益計算書

(単位：百万円、端数切捨て)

科目	期別	前中間会計期間 平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで	当中間会計期間 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで
売上高		27,281	25,042
売上原価		12,929	11,856
売上総利益		14,351	13,186
販売費及び一般管理費		13,618	12,559
営業利益		733	627
営業外収益		529	381
営業外費用		121	122
経常利益		1,141	886
特別利益		489	369
特別損失		113	48
税引前中間純利益		1,517	1,207
法人税、住民税及び事業税		401	279
法人税等調整額		46	197
中間純利益		1,069	730
前期繰越利益		1,055	—
中間未処分利益		2,125	—

# 株主様ご優待のお知らせ

当社は、株主の皆様の日頃のご支援・ご協力への感謝の印として、株主優待制度を行っております。3つのコースから、ご希望のいずれかをお届けいたします。ご試用によって、当社の幅広い製品構成をご理解いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

## Aコース

### からだの脂肪を考える、新コンセプト食品 『新健康習慣』1箱 (2週間セット)

『新健康習慣』は、各種栄養成分をバランスよく配合した1食約220キロカロリーという低エネルギーの食生活サポート食品です。「体脂肪率が高い」「健康的なウエイトコントロールをしたい」といった方におすすめです。



## Bコース

### 健康飲料『コンドロビー濃縮液 潤甦(じゅんこう)』 (720ml入り2本セット)

『コンドロビー濃縮液 潤甦(じゅんこう)』は1日の摂取目安量90ml中にコンドロイチン硫酸1,560mg、グルコサミン1,000mgおよびコラーゲンペプチド1,000mgも摂取できるように配合しており、若々しく活動的にすごしたいと願う方におすすめの健康飲料です。



## Cコース

### 美容・健康商品『化粧品・ミニドリンク剤 詰め合わせセット』

大人ニキビ対策として好評頂いているコンドロイチン含有の『アポスティー洗顔フォーム』および『アポスティーマイルドローション』を各2本と、ローヤルゼリー、ヨクイニン、ビタミン類を配合し1本わずか2Kcalノンシュガータイプのミニドリンク剤ローヤルゼリー配合『ももの味』ノンシュガー、同『りんご味』ノンシュガー各10本入り1箱をセットにしました。



『アポスティー洗顔フォーム』(化粧品) 60g × 2本  
『アポスティーマイルドローション』(医薬部外品) 150mL × 2本  
ローヤルゼリー配合『ももの味』ノンシュガー(医薬部外品) 50mL × 10本入り1箱  
ローヤルゼリー配合『りんご味』ノンシュガー(医薬部外品) 50mL × 10本入り1箱

## 会社概要

創 立	1955年12月
資 本 金	6,593,398,500円
社 員 数	1,186名
主な事業内容	1. 医薬品、医薬部外品、試薬の製造、 販売及び輸出入 2. 化粧品、健康食品、清涼飲料、 衛生雑貨、医療機器の製造、 販売及び輸出入

## 役員

代表取締役社長	伊 部 幸 顕
常務取締役	猪 口 博 明
常務取締役	長 江 晴 男
常務取締役	斎 藤 武
取 締 役	大 野 晃
取 締 役	吉 島 光 之
取 締 役	花 田 雅 彦
取 締 役	熊 井 雅 一
取 締 役	菅 幹 雄
取 締 役	永 谷 康 典
取 締 役	瀬 沼 宏 章
取 締 役	森 山 茂
取 締 役	堀 博 之
取 締 役	竹 内 治 之
取 締 役	吉 村 和 彦
常勤監査役	浜 野 峻 至
常勤監査役	田 中 辰 幸
監 査 役	小笠原 日出男
監 査 役	中 由 規 子

## 事業所

●本 社	東京都中央区
●札幌支店	札幌市
●仙台支店	仙台市
●東京支店	東京都中央区
●神奈川営業所	横浜市
●埼玉営業所	さいたま市
●千葉営業所	千葉市
●北関東営業所	水戸市
●関越営業所	新潟市
●甲信営業所	松本市
●名古屋支店	名古屋市
●静岡営業所	静岡市
●大阪支店	吹田市
●大阪第二営業所	堺市
●神戸営業所	神戸市
●京都営業所	京都市
●金沢営業所	金沢市
●中四国支店	広島市
●岡山営業所	岡山市
●高松営業所	高松市
●松山営業所	松山市
●福岡支店	福岡市
●中央研究所	埼玉県大里郡
●埼玉工場	埼玉県大里郡
●筑波工場	牛久市
●東京物流センター	川口市
●札幌物流センター	札幌市
●埼玉物流センター	埼玉県大里郡
●大阪物流センター	大東市
●出張所	青森・郡山・宇都宮・富山・米子・山口・高知・徳島・大分・ 熊本・長崎・鹿児島・沖縄

# 株式情報 (平成18年9月30日現在)

## 株式の状況

①発行可能株式総数	119,860,000株
②発行済株式総数	48,290,173株
③株主数	3,779名

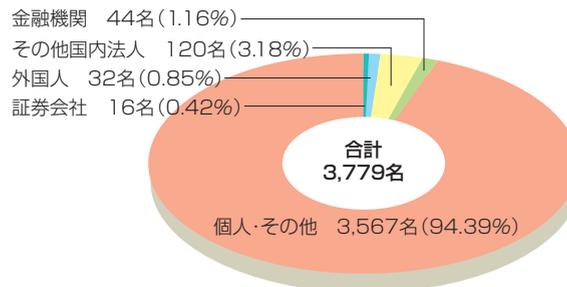
## 大株主

株主名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)	持株数(株)	出資比率(%)
有限会社伊部	5,510,770	11.4	—	—
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,915,500	3.9	—	—
ゼリア新薬工業従業員持株会	1,866,417	3.8	—	—
森永乳業株式会社	1,854,741	3.8	1,596	0.0
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,714,000	3.5	—	—
伊部 幸顕	1,409,425	2.9	—	—
株式会社三井住友銀行	1,278,301	2.6	—	—
株式会社りそな銀行	1,074,896	2.2	—	—
あいおい損害保険株式会社	858,691	1.7	—	—
中央三井信託銀行株式会社	639,000	1.3	—	—

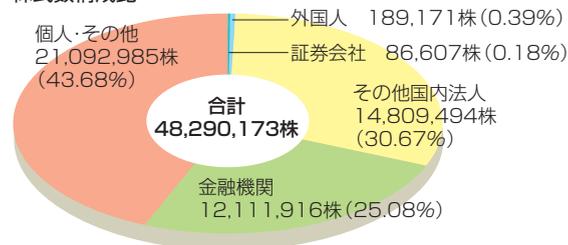
(注)上記の他に、当社が自己株式として5,991,163株所有しております。

## 所有者別株式分布状況

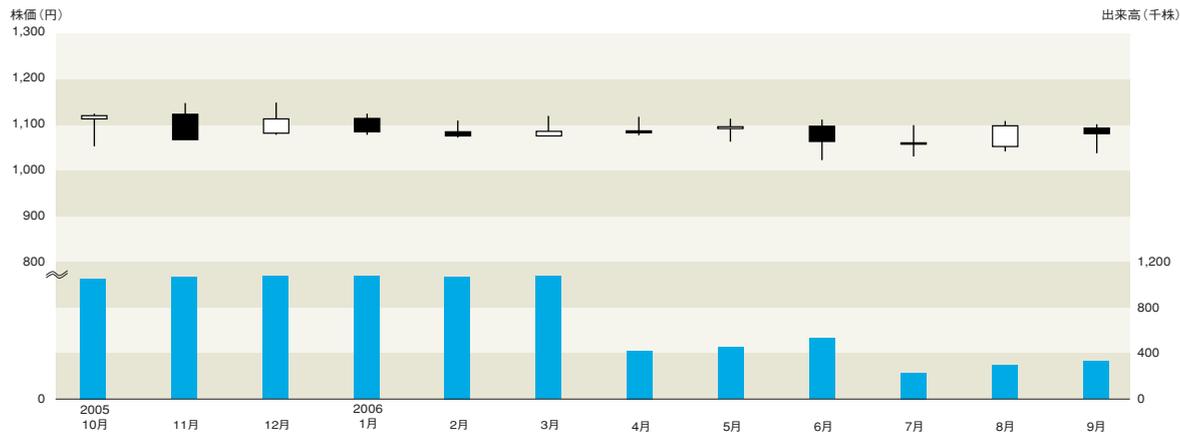
### 株主数構成比



### 株式数構成比



## 株価および出来高の推移



# 株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 3月31日  
権利行使株主確定日
- 期末配当金 3月31日  
受領株主確定日
- 中間配当金 9月30日  
受領株主確定日
- 定時株主総会 6月下旬
- 公告方法 電子公告による  
<http://www.zeria.co.jp/>  
ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。
- 株主名簿管理人 〒105-8574  
東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社
- 同事務取扱所 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
中央三井信託銀行株式会社証券代行部  
0120-78-2031（フリーダイヤル）
- 同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店  
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
- 証券コード 4559

(お知らせ)

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙ご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤルまたはインターネットホームページ

 0120-87-2031

[http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)で24時間受付しております。

最新のIR情報は当社ホームページをご覧ください。

URL <http://www.zeria.co.jp/>



当社ではスピーディーに正確な情報をご提供するため、ホームページを開設しております。株主・投資家の皆様向けのIR情報から最新のニュースまで幅広い内容となっておりますので、ぜひ一度、ご覧ください。



**ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室**

〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11  
TEL 03-3663-2351 (代表) FAX 03-3663-2352  
03-3661-2080  
<http://www.zeria.co.jp/>